



## 年頭のごあいさつ

一般財団法人 全国市町村振興協会  
理事長 山 野 岳 義

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は、当協会の業務運営につきまして、格別のご支援・ご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

昨年、本協会は、一般財団法人として新たなスタートを切ることが出来ました。これもひとえに皆様のおかげと感謝申し上げます。今後も、皆様の期待に応えられるよう、従前にも増して全国の市町村の健全な発展を図るために努力して参る所存でございます。

さて、ご案内のように、昨年末、第三次安倍内閣が発足いたしました。その最重要施策として掲げられているのが「地方創生」であります。言うまでもなく、市町村振興宝くじの創設に際しての基本的な考え方は、全国協会、地方協会ともに、重点的な事業を行うことにより宝くじ収益の均てん化を図るというものです。こうした考え方の下で、これまでも市町村アカデミーの創設や、災害支援、地域振興文化活動支援など様々な形で市町村の発展に寄与して参りましたが、今回の「地方創生」は、私どもの進めてきた市町村振興事業をさらに発展させる絶好の機会であると考えております。

私どもといたしましても、新たな取り組みとして、「市町村振興事業を掘り起こすための助成」を平成26、27年度で試験的に実施いたしました。これは、市町村振興協会の基本理念の下で、重点的にプロジェクトを行い、これを育てて参りたいという趣旨で始めた事業であります。

平成27年度の本事業も、100を超える多くの団体から申請をいただき、この申請件数や、各事業の内容を見ましても、「地方創生」に対する各地方の熱意を実感することができました。残念ながら全ての事業を採択することはできませんが、この事業が「地方創生」の一助となれば幸いに思います。

最後になりましたが、皆様方のますますのご健勝と全国の市町村及び市町村振興協会のさらなるご発展を心から祈念申し上げ、巻頭言とさせていただきます。